

令和2年度業務実績に関する評価（案）の概要

1 業務実績（税込）

（単位：百万円）

区 分	R元年度（実績）A	R2年度（実績）B	B-A
経常収益	47,722	48,016	294
医業収益	39,778	38,077	▲1,701
経常費用	47,290	47,310	20
医業費用	46,301	46,315	14
経常収支	432	706	274
経常収支比率	100.9%	101.5%	0.6
当期純損益	302	540	238

2 業務実績全体にかかる総合的な評価（要旨）

医 療 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立病院としての使命を引き続き担い、総合病院における外来化学療法センターのリニューアルやダ・ヴィンチ手術における対応領域の拡大など、<b>医療の質の更なる向上とそのための体制づくりへの努力が引き続き認められる</b></li> <li>・ また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応に当たっては、専用病床の確保や患者の受入れなど、<b>県内の医療提供体制の確保に貢献している</b></li> </ul>
経 営 面	患者数の減少等により医業収益が大幅に悪化したが、新型コロナウイルス感染症関連の補助金の交付等により、 <b>経常収支においては12年連続で黒字決算を達成</b>
総合的評価	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、 <b>医療面・経営面の双方で、中期目標の達成に向けての努力と着実な進展がみられる</b>

3 機構の業務実績・自己評価

（1）機構自己評価（機構が行動計画として設定した全119項目）

区 分	暫定評価	本評価	備 考
S：計画に対し十分に取り組み、顕著な成果が得られている	9	10	<A→S> 【34】ダ・ヴィンチ手術（総）
A：計画に対し十分に取り組み、成果が得られている	81	84	<A→B> 【49】病床稼働率（心） 【87】心エコー診断（子） <B→A> 【53】小児がん登録件数（子） 【56】こころの診療科（子） 【103】災害救護、【119】経営状況 <未→A> 【8】患者満足度、【95】資格取得支援
B：計画に対し、十分に取り組んでいる	22	23	<未→B> 【65】海外研修、【68】海外視察の受入れ 【108】業務改善推進運動
C：計画に対する取り組みは十分でない	0	0	
未評価（※暫定評価時データ集計中）	7	0	
評価対象外	—	2	【55】救急関係研修会（子）、【97】県民向けイベント（総、子）
計	119	119	

(2) 令和2年度数値目標の達成状況（機構が中期計画・令和2年度計画において指標設定）

区分	暫定評価	本評価	備考
目標達成	11	13	
目標未達成	13	13	【10・11】紹介率・逆紹介率(心、子)、 【25・40・50】入院患者数・外来患者数(3病院)、【36】手術件数(総)、 【39・49・60】病床稼働率(3病院)、【51】心臓カテーテル治療(子)、 【61】医師数【96】公開講座数、 【108】業務改善運動推進制度実績件数
未評価	2	0	
計	26	26	

4 県評価（全119項目のうち、県が数値目標項目など68項目を「重点項目」として設定）

区分	暫定評価	本評価	備考
☆：良好で特に着目する状況	8	10	<○→☆> 【34】ダ・ヴィンチ手術（総） <新> 【6】医療安全対策の充実
○：良好な状況	52	53	<○→△> 【49】病床稼働率（心） <△→○> 【119】経営状況 <未→○> 【8】患者満足度、【108】業務改善推進運動
△：より一層の取組を期待	5	5	
▼：取組改善を強く要望	0	0	
未評価	2	0	
計	67	68	

5 実施状況の調査・分析

(1) 項目別要旨

県民に対して提供するサービスの他の業務の質の向上	医療の提供	総合病院の外来化学療法センターのリニューアルやダ・ヴィンチ手術における対応領域の拡大、緩和ケアの推進、こども病院での小児がんに対する集学的治療への取組や静岡県移行期医療支援センターの開所等、 <b>医療の質の更なる向上が図られている</b>
	医療従事者の確保及び質の向上	総合病院のメディカルスキルアップセンターにおいて現場に即した実践的な研修が提供されているほか、各病院における院内施設の充実や、総合病院の院内保育所における利用対象の拡大等の運用見直しなど、 <b>就労環境の向上に取り組んでいる</b>
	医療に関する調査及び研究	総合病院のリサーチサポートセンターにおける研究体制の強化や慶應義塾大学大学院との協定に基づく修学生の選定など、意欲ある医師への研究や学術交流の機会の提供により、 <b>本県医療水準の向上に寄与している</b>
	医療に関する地域への支援	県内医療機関への医師派遣等により地域医療提供体制維持に貢献したほか、地域の医療従事者の養成や県立病院としての社会的役割に応じた取組が行われており、高度・専門医療の技術や知見が積極的に <b>地域に共有・還元されている</b>

災害等における医療救護	新型コロナウイルス感染症対応のためのDMAT、DPAT派遣など、 <b>災害対応の基幹的役割を果たしており</b> 、こころの医療センターにおいては、令和3年2月に災害拠点精神科病院に指定されている
業務運営の改善及び効率化	薬品・診療材料の適正な調達・在庫管理や業務改善運動の推進等、 <b>業務運営の効率化に継続して取り組んでいる</b>
財務内容の改善に関する事項	経常収支において、約7.0億円の黒字を確保し、 <b>地方独立行政法人化後、12年連続で経常収支比率100%以上を達成した</b>

(2) 項目別業務実績評価抜粋（県評価のうち☆及び△の項目を抽出）

※下線部は暫定評価からの修正・追加事項

No.	内容	県評価	
		機構評価	県評価
5	チーム医療の推進	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス患者の受入れ対応のため、院内感染対策チームを創設</li> </ul>
		S	
6	医療安全対策の充実	☆	
		S	
15	感染症医療	☆	<b>【新型コロナウイルスへの対策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3病院における<b>病床の確保</b>（総合27床、こころ4床、こども4床）</li> <li>・総合病院の<b>専門病棟の整備等</b>、県内医療提供体制確保に貢献</li> </ul>
		S	<b>【結核への対策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院においては県内最大規模の<b>結核病床（50床）を維持</b>し、県全体の結核対策に貢献</li> </ul>
23	移行期医療	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県からの委託を受け、こども病院において<b>移行期医療支援センターを開所</b></li> <li>・患者の医療移行や自立支援の推進における中心的役割を期待</li> </ul>
		S	
24	施設や設備等の充実	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工呼吸器等の機器購入など、<b>新型コロナウイルス患者受入れのための設備整備</b>により、県内医療提供体制確保へ貢献</li> <li>・医療情報の共有化による、質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指し、<b>3病院共通のサーバ室整備</b>に着手</li> </ul>
		S	
31	がん化学療法の充実	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来化学療法件数は高水準を維持 <u>(R元 12,707件→R2 12,660件)</u></li> <li>・外来化学療法センターのリニューアルにより患者の利便性向上に寄与</li> </ul>
		S	

No.	内 容	県評価	県評価						
		機構評価							
32	緩和ケアの推進	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科医 2 人体制へと体制強化したことで、<b>緩和ケア診療加算の算定割合は令和元年度並みの高水準を維持</b> (R 元 50.7%→R2 51.5%)</li> <li>・就労支援出張相談窓口の設置により患者の社会復帰支援を強化</li> </ul>						
		S							
34	ロボット支援手術の活用	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ダ・ヴィンチ使用手術件数の増加</b> (R 元 199 件→R2 243 件)</li> <li>・<b>ダ・ヴィンチ使用手術における術者数の増加や対応領域の拡大(心臓血管外科)</b></li> </ul>						
		S							
77	リサーチサポートセンターにおける研究体制	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫研究部長の関わる研究論文が英科学誌「Nature」へ掲載</li> <li>・慶應義塾大学大学院との協定に基づく、人的交流の令和 3 年度開始に向けた調整</li> </ul>						
		S							
101	こころ災害時医療救護活動拠点としての体制整備と取組の充実	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年 2 月に<b>災害拠点精神科病院の指定</b></li> <li>・東部地区の病院へ<b>D P A T</b>を派遣し、感染対策に係る活動を実施</li> </ul>						
		S							
17	こころリハビリテーション件数の減	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション件数は減少傾向 (H30 11, 517 件→R 元 8, 945 件→R2 8, 080 件)</li> <li>・新型コロナウイルス感染対策として、動画配信やリモートによるデイケアプログラムの実施</li> <li>・<b>デイケアの新規利用者増加や訪問看護の拡充に向けた取組を注視</b></li> </ul>						
		B							
39 49 60	病床稼働率 (総合・こころ・こども)	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、病床稼働率は<b>中期目標で示した目標値未達成</b>であるため、今後の取組を注視</li> </ul> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>総合</td> <td>目標値 90%→実績 84.8%</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>目標値 85%→実績 84.8%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>目標値 75%→実績 66.4%</td> </tr> </table>	総合	目標値 90%→実績 84.8%	こころ	目標値 85%→実績 84.8%	こども	目標値 75%→実績 66.4%
		総合		目標値 90%→実績 84.8%					
こころ	目標値 85%→実績 84.8%								
こども	目標値 75%→実績 66.4%								
B									
67	こども本館リニューアル工事によるラーニングセンターの使用休止	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設改修計画と整合を図りつつも、<b>院内研修のセンター集約</b>により研修環境を改善する運営検討部会の方向性を継続できるよう、運用・検討を要望</li> </ul>						
		B							